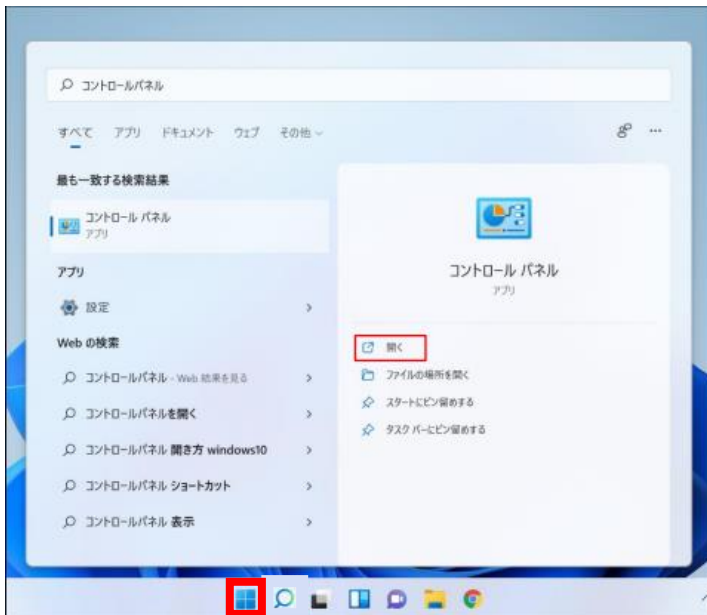


無線 LAN 接続マニュアル（Windows11 用）

作成日：2025/04/03

- ① Windows キーを押し、検索欄に「コントロールパネル」と検索し、開きます。



- ② 「ネットワークとインターネット」をクリックします。



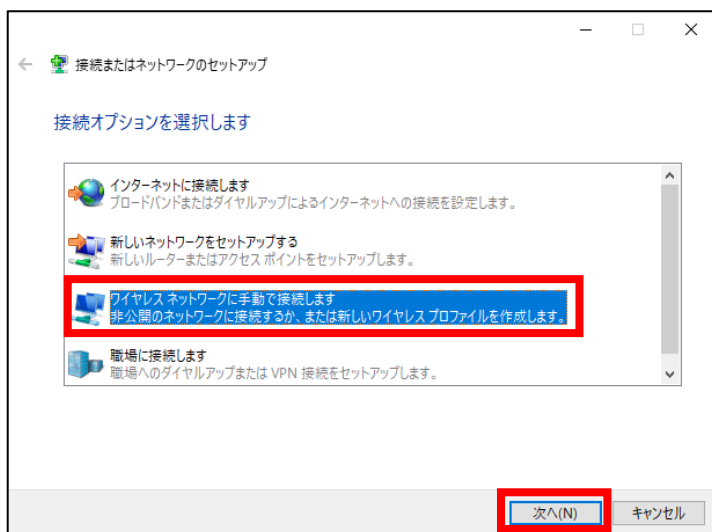
- ③ 「ネットワークと共有センター」をクリックします。



- ④ 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」を選択します。

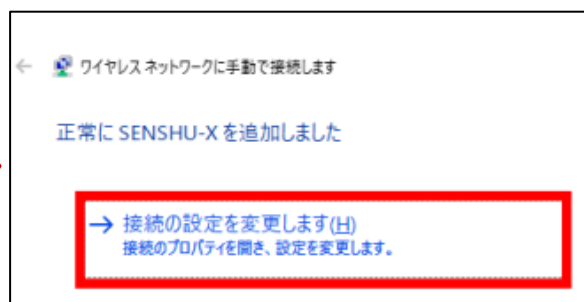
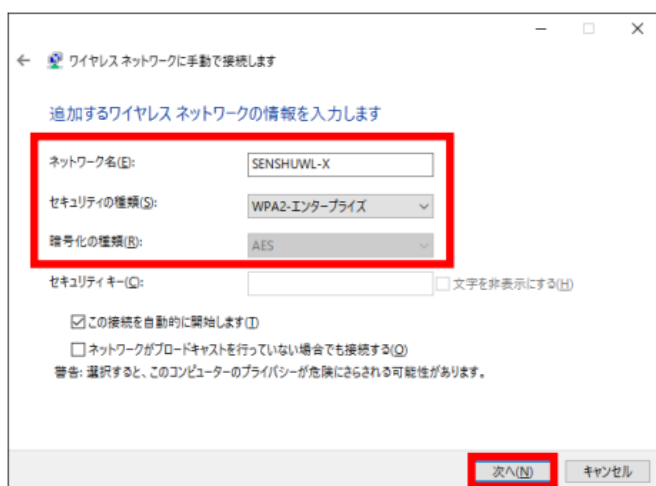


- ⑤ 「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



- ⑥ 以下の通りネットワーク情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。次の画面で「接続の設定を変更します」をクリックします。

ネットワーク名	SENSHUWL-X
セキュリティの種類	WPA2-エンタープライズ
暗号化の種類	AES



- ⑦ 「セキュリティ」タブをクリックし、「ネットワークの認証方法の選択」で「Microsoft: 保護された EAP(PEAP)」が選択されている事を確認し、「設定」ボタンをクリックします。

SENSHU-X ワイヤレス ネットワークのプロパティ

接続 セキュリティ

名前: SENSHU-X
SSID: SENSHU-X
ネットワークの種類: アクセス ポイント
ネットワークの利用範囲: すべてのユーザー

☒ このネットワークが接続範囲内に入ると自動的に接続する(M)
☐ このネットワークに接続した状態で別のワイヤレス ネットワークを探す(L)
☐ ネットワークが名前 (SSID) をブロードキャストしていない場合でも接続する(Q)

OK キャンセル

SENSHU-X ワイヤレス ネットワークのプロパティ

接続 セキュリティ

セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ
暗号化の種類(N): AES

ネットワークの認証方法の選択(Q):
Microsoft: 保護された EAP (PEAP) 設定(S)

☒ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(B)

詳細設定(D)

OK キャンセル

- ⑧ 「保護された EAP のプロパティ」画面で以下の通り設定し、「OK」ボタンをクリックします。

① 「証明書を検証してサーバーの ID を検証する」にチェックを入れる

② 「Security Communication RootCA2」にチェックを入れる

③ 「セキュリティで保護されたパスワード(EAP-MSCHAP V2)」を選択する

④ 構成...

⑤ チェックを外す

⑥ OK

- ⑨ ⑦のセキュリティタブに戻り、「詳細設定」ボタンをクリックし、以下の通り設定を行います。

SENSHU-X ワイヤレス ネットワークのプロパティ

接続 セキュリティ

セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ

暗号化の種類(N): AES

ネットワークの認証方法の選択(Q): Microsoft 保護された EAP (PEAP) 設定(S)

☑ ログインするたびに、この接続用の資格情報を使用する(B)

詳細設定(D)

OK キャンセル

詳細設定

802.1X の設定 802.11 の設定

☑ 認証モードを指定する(D): ユーザー認証 資格情報の保存(Q)

☐ すべてのユーザーの資格情報を記憶する(D)

☐ このネットワークに対するシングル サインオンを有効にする(S)

☑ 802.1X の設定」タブの「認証モードを指定する」にチェックを入れ、「ユーザー認証」を選択する

☐ このネットワークでは、コンピューターとユーザーの認証に別の仮想 LAN を使用する(V)

OK キャンセル

- ⑩ 「SENSHUWL-X ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面で「OK」ボタンをクリックし、次の「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

- ⑪ タスクトレイのネットワークアイコンをクリックし、「SENSHUWL-X」を選択して、「接続」ボタンをクリックします。「ユーザー名」と「パスワード」に情報科学センターのユーザーID とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。
「SENSHUWL-X」に「接続済み、セキュリティ保護あり」と表示されれば、接続完了です。

